

中高生のための英語×探究プレゼンコンテスト 第7回 Change Maker Awards

1. 活動時期

2023. 11月
～3月24日

2. 参加のきっかけ

学校の先生から勧められ、興味を持ち参加を決意しました。

高校1年 服部 鈴

3. 活動内容

CMA(Change Maker Awards)は、中高生のための英語プレゼンテーションコンテストです。自分が夢中になっている「探究」について、英語4技能とプレゼンテーションで競います。私は、『世界の情報が偏らないためにはどのような教育が必要なのか』について研究をしました。中学生の時から積極的に参加していたディベート大会や、模擬国連を絡めながら、どのように世界を変えられるかを考え、プレゼンしました。



4. 参加した感想

①参加する前と後の変化

参加したことで、世界の様々な社会問題に対して興味を持つことができました。全国大会では、研究に地域を挙げて活動している方やチームがいたり、学生生活をこの活動に費やしたという高校3年生も多く、とてもレベルが高かったです。参加者の発表テーマが様々で、カタツムリを使用して海岸汚染を解決する方法を提案した人もいれば、テコンドーの不正を審査するセンサーを開発した人もいました。このように今まで触れることのなかった先輩方の多様な分野の研究を聞くことができ、非常に刺激を受けました。

また、自分の研究をしていくうちに、自分が何に興味があるのか、将来何をしたいのかが少しずつ明確になっていきました。自ら調べるからこそ新しい発見や意見が生まれることを実感しました。

②活動中の面白かったポイント

参加者のプレゼンは、全て興味深かったです。特に、アマモという海藻で醤油を作った参加者の食を通じて社会問題を解決しようとしている所に感興を持ちました。彼女は岡山県の学校に在籍していて、地域の方々に支えられながら活動をしているらしいです。このような面白い発想と沢山の活動をしている同世代の方々と時間を共有でき、お互い連絡先を交換できてこれからも刺激し合える仲間が出来たことが1番の宝です。

また、審査員の方々は日本はもちろん世界で活躍されている国際弁護士やCEOなど、テレビで見ると有名な方々でした。普段の生活では中々直接話せる機会がない先生方と大学の話やアプリ開発のコツなど身近に会話ができる時間も有りとても貴重な経験でした。



5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

私の研究は、リベラルアーツ教育という大きなテーマでしたが、他の参加者の中にはカタツムリや金継ぎ、エコバックなど具体的なことに着目して研究をしている方も多かったです。当たり前の日常の中に研究のきっかけが潜んでいるので、日々色んなことに興味を持ち、自ら調べてみようという意識があるといいと思います。小さな気付きでも、こんな事と思わず、挑戦して欲しいと思いました。